

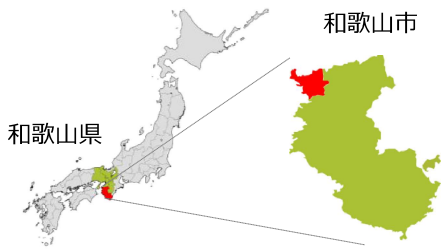


和歌山市

WAKAYAMA CITY

2023 Wakayama City Guide

はじめまして、和歌山市です。



和歌山県

和歌山市

access

電車

《東京方面から》

東京-新大阪 約2時間30分（新幹線のぞみ）
→JR阪和線 新大阪駅-和歌山駅 約1時間（特急）

《大阪方面から》

JR阪和線 新大阪駅-和歌山駅 約1時間（特急）
南海本線 難波駅-和歌山市駅 約1時間

車

《大阪方面から》

吹田JCT-和歌山IC 約1時間
《京都方面》
京都南IC-和歌山IC 約1時間30分
《神戸方面》
京橋IC-和歌山IC 約1時間30分

飛行機

東京-関西国際空港 約1時間15分

《関西国際空港から》

→JR阪和線 日根野駅で乗り換え、和歌山駅 約45分
→南海本線 泉佐野駅で乗り換え、和歌山市駅 約40分
→リムジンバス 関西国際空港からJR和歌山駅 約40分



map

北西部地域
友ヶ島や人気のサーフィンスポット・磯ノ浦など、若者に人気の地域

北部地域
和歌山大学を中心に住宅街の広がる新しいまち

北東部地域
熊野古道沿いののどかな農業地域

中心部地域
和歌山城を中心とするまちなか

東部地域
古墳群があり、古くから住みやすい地域

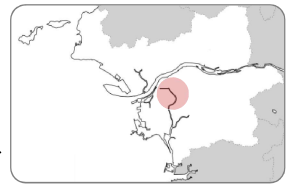
南部地域
和歌浦や雑賀崎といった海岸や漁港が広がる地域

南東部地域
立派な民家など、昔ながらの農村風景が残る





5年以内の大学誘致件数が全国第1位に！
専門分野が学べる大学が集まり活気づく中心部地域
 史跡・和歌山城を中心にひろがる和歌山市の中心部地域（まちなか）。令和3年度までに5つの大学及び学部が開学・開校。専門分野を学ぶ学生の「地学地就」を実現するとともに、学生が地域の方々と交流を通し、まち全体が活性化することを目指しています。



**地域の人々との交流を通し、
教育・子育て支援を学ぶ**

和歌山の医療を支えるエキスパートを育成

**和歌山県立医科大学
薬学部**
近畿で唯一の公立大学薬学部として、令和3年4月に開設。

和歌山信愛大学教育学部
平成31年4月開学。自治体と協力した地域連携科目が充実。地域を支えられる教育者を育成しています。

**宝塚医療大学
和歌山保健医療学部**
令和2年4月開設。医療と社会をつなぐ「医療人」を育成。

**老若男女が
暮らしやすい
賑やかな
まちなかへ**

ほほえみキャンパス

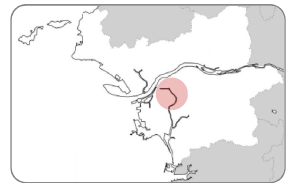
母子と家族の健康増進などを強みとする東京医療保健大学と子供の発達支援などを強みとする和歌山信愛大学が連携

東京医療保健大学和歌山看護学部
平成30年4月開設。「わかやま学」など和歌山県のことを知るための科目を学び、「地域」を支える看護職を育成しています。

**和歌山
リハビリテーション専門職大学
健康科学部**
令和3年4月開学。リハビリのプロを養成する専門職大学です。

お城を望むまち！和歌山市中心部地域（まちなか）

江戸幕府八代将軍徳川吉宗や十四代将軍家茂を輩出した御三家・紀州徳川家。その居城が和歌山城でした。現在は山頂にそびえる天守閣をはじめ、豊かな自然や季節の花木、重要文化財岡口門や復元された御橋廊下等の多くの見所が楽しめます。特に天守閣からの眺めは素晴らしく、紀ノ川から紀伊水道を臨む光景は、「南海の鎮（しずめ）」と呼ばれ西日本の監視を担った紀州徳川家の威風を現代に伝えています。

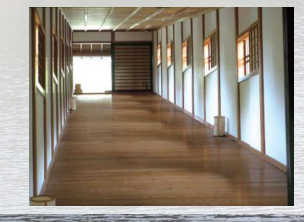


和歌山城公園動物園
全国的に数少ないお城の敷地内にある無料の動物園。



西之丸庭園
江戸時代初期に作庭された池泉回遊式の名庭園。紅葉深庭園とも呼ばれ、毎年11月末から12月初旬に紅葉が見ごろ。

御橋廊下
二の丸大奥と西の丸を結ぶ殿さまのための特別な廊下橋。見た目だけでなく、だんだん張りの床板はとっても刺激的です。



紅松庵
紀州徳川家と縁深い和歌山の茶道文化。お茶をいただくゆっくりとした時間は大変贅沢。



**南海和歌山市駅直結の
和歌山市民図書館**

併設する南海和歌山市駅ビル「キーノ和歌山」とともに、新たな「まちの居場所」として、多様な世代が訪れる施設にリニューアルオープン。



**和歌山市役所から
和歌山城ホールのみちなみ**

和歌山城ホールと城前広場からなる一体の空間が広がり、市民活動や市民の憩いの場として利用されています。



マリナクティビティなどが楽しめる！北西部地域

友ヶ島のある和歌山市加太をはじめ、北西部地域は、サーフィンや海水浴、釣りなどのマリナクティビティが存分に楽しめる若者に人気のスポットです。令和2年に日本遺産として認定された「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」の舞台でもあります。



虎島には、役小角の葛城二十八宿の第一番経塚がある序品窟があり、現在も修験道の行場となっています。

加太海水浴場
砂浜でBBQが楽しめる海水浴場。



深山砲台跡
大阪湾の防御を担っていた深山砲台跡。ハイキングコースを抜けた先には、友ヶ島や紀淡海峡が一望できる展望台があります。

加太の海が育む豊かな自然のめぐみ

加太の真鯛



真鯛を傷つけない一本釣り漁法により、「明石鯛」「鳴門鯛」と並んでトップブランドとして取り扱われています。

淡島神社

「雑流し」が行われることで有名。婦人病や安産・子授け祈願など「女性のための神様」として信仰されています。



全長約1,400キロメートルの「太平洋岸自転車道」のゴールがあります。



加太の蛸

加太は「たこ壺漁」でも有名。身は柔らかく甘みがあります。



加太のワカメ

荒波にもまれて育つ加太のワカメは、色鮮やか。

磯の浦海水浴場（サーフィン場）

関西屈指のサーフィンスポット。1200mの白いビーチ。海水浴シーズンは海水浴エリアとサーフィンエリアを分けていますので、お子様にも安心です。



和歌山市森林公園

自然豊かな公園では、ハイキングが楽しめる。アジサイやピオトープ、恐竜オブジェも人気。海を育てるための森づくりにも力を入れています。



出典：和歌山県ホームページ

https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130100/shokuzai-kaisou/kada_tako.html / https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130100/shokuzai-kaisou/kada_wakame.html



アニメの世界のようだと人気！加太・友ヶ島

和歌山市北西加太沖に浮かぶ無人島群。瀬戸内海国立公園の紀淡海峡に浮かぶ沖ノ島（おきのしま）・地ノ島（じのしま）・虎島（とらじま）・神島（かみじま）。この4島を総称して友ヶ島と呼んでいます。



黒船来航の頃から大阪湾を守る要衝とされた友ヶ島。明治時代になるとさらにその重要性が高まり旧陸軍により由良要塞の要所として大規模に整備されました。

大きな大砲を島内のあちこちに備え、約600人の兵隊が駐屯する要塞となり、第2次世界大戦が終わるまで一般人の立ち入りができませんでした。終戦後、砲台は取り壊され、大砲は処分されましたが、島には今も砲台跡や弾薬庫跡などがあります。



第2砲台跡



第3砲台跡



島内はほとんどの場所が照葉樹林で覆われており、木陰の中をハイキングできます。



友ヶ島灯台

明治5年6月25日に初点灯した石造りの洋式灯台。今なお現役の白亜の灯台は、紀伊水道を航行する船舶の安全を見守っています。



子午線広場

友ヶ島は東経135°日本標準時子午線が通る日本最南端の地です。



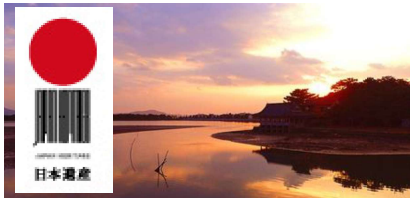
和歌山市をモデルにした大人気漫画

サマータイムレンダ

和歌山市出身の田中靖規氏が作者である漫画。漫画アプリ「少年ジャンプ+」にて連載されていた離島タイムループサスペンス！主人公の慎平が訪れる和歌山市の離島「日都ヶ島」は友ヶ島をモデルとしています。累計で1億5,000万閲覧、2022年4月から関西テレビ・TOKYO MX・BS11ほかにてアニメ放送された人気作品で、現在、ディズニープラスなど動画配信サービスでも見られます。メインキャラクターの小舟潮（こぶねうしお）さんが、和歌山市初となる和歌山市アニメ観光大使として、友ヶ島をはじめ、和歌山市の魅力を市内外に発信しています。

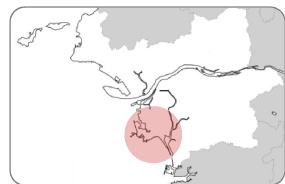
©田中靖規/集英社・サマータイムレンダ製作委員会





歴史薫る風光明媚な南部地域。和歌浦・雑賀崎

万葉歌人・山部赤人が歌に詠んでから、2024年で1300年を迎えます。潮の干満によって干潟が現れては消え、刻一刻と変化しながら、四季折々の多彩な風景を魅せる和歌の浦。万葉歌に詠われ、芸術や文化を育んだ歴史ある風景は、今もなお人々を魅了し続けています。



和歌浦天満宮

大宰府天満宮、北野天満宮とともに日本の三菅廟といわれています。楼門は一間楼門として最大規模。本殿は国重要文化財です。



紀州東照宮

1621年、紀州徳川家初代藩主・頼宣が、南海道の総鎮護として創建。「関西の日光」ともよばれています。

玉津島神社

稚日女尊をまつっており、和歌の神様と呼ばれています。



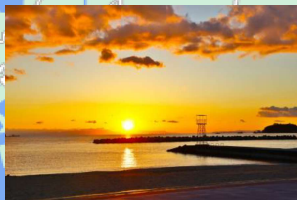
西国巡礼の桜の名所 紀三井寺

早咲きの桜として有名。西国第2番の札所でもあります。



番所庭園

「番所の鼻」と呼ばれる、長く突き出た地形が特長。幕末に築かれた黒船の見張り番所の跡です。



片男波公園・片男波海水浴場

万葉の歌聖・山部赤人に「わかぬ浦に 潮満ちくれば 瀧をなみ 芦辺をさして 鶴鳴きわたる」とうたわれた和歌の聖地。

雑賀崎灯台

紀伊水道に沈む夕日展望の名所



日本のアマルフィ!? 雑賀崎

漁港周囲の斜面に家々が建ち並ぶ風景から「日本のアマルフィ」と呼ばれる雑賀崎。AIが判定した「日本のそっくり世界遺産ランキング」の「建物・町並み編」で一位になりました。



和歌山マリーナシティ

風光明媚な和歌浦の海に浮かぶ人工島「和歌山マリーナシティ」。ヨーロッパの街並みやアトラクションが楽しめるテーマパークや、マグロの解体ショーで人気の「黒潮市場」などの施設が充実!

関西最大級の広さを誇る道の駅がグランドオープン! のどかな田園風景が残る東部地域

熊野古道が地域を南北に貫き、昔ながらの農村の風景が残る、のどかな地域です。自然を感じながら農業体験などができる道の駅・四季の郷公園がオープンした、注目の地域です。



日本最古の神社の一つ! 日前神宮・國懸神宮

神話との関わりが深い、日本最古の神社の一つです。



和歌山IC

和歌山電鐵 貴志川線



車両: DESIGNED BY ENJI MITOOKA + DON DESIGN ASSOCIATES
和歌山市の東郊に延びる「和歌山電鐵 貴志川線」は、たま電車などユニークな車両が走るローカル線。駅で働く猫の駅長さんが人気です。

熊野古道 (熊野参詣道)

重要文化財

旧中筋家住宅



江戸時代の和佐組大庄屋の屋敷。1852年(嘉永5年)建築の主屋は、三階の望山楼、二十畳敷きの大広間や広い接客空間などが特徴です。

道の駅 四季の郷公園

1日遊べる体験型道の駅



甲子園球場の約7倍という関西最大級の広さを誇る道の駅・四季の郷公園。アスレチックで体を動かして遊ぶのはもちろん、地域食材レストランや農産物直売所等でグルメを堪能。たけのご掘りや農業体験等ができる、1日遊べる! 体験型の道の駅です。

龜山神社



木の神を祀る伊太祁曽神社

『日本書紀』や『古事記』に登場



和歌山市の歴史

現在、和歌山市の南に位置する「和歌浦」。『続日本紀』によれば、この地からの眺めに感動した聖武天皇が「明光浦（あかのうら）」と名付け、それが「若の浦」、さらに「和歌浦」に転訛したと伝わります。さらに、豊臣秀吉がその北側にある「岡山」に城を築こうとした際、南側に広がる「和歌浦」に対して、築城した岡手を「和歌山」と名づけたことが「和歌山」の由来です。

5～6世紀	豪族紀氏の奥津城として、全国でも屈指の規模をもつ岩橋千塚古墳群が構築される。
724年（神亀元年）	聖武天皇の行幸に従った宮廷歌人の山部赤人が「若の浦に 潮満ち来れば 瀧を無み 葦辺を指して 鶴鳴き渡る」山部赤人（万葉集巻6 九一九）と詠み、以来、和歌の浦は和歌の聖地となる。玉津島神社には和歌の神が祀られ、歌人の憧れの地となり、多くの和歌に詠われるようになる。
770年（宝亀元年）	唐僧・為光上人によって紀三井山金剛宝寺護国院が開基される。
1201年（建仁元年）	後鳥羽上皇の熊野御幸に随行した藤原定家が、市内の熊野参詣道を通り、日記に記す。
1577年（天正5年）	織田信長が対立する紀州雑賀を攻めるが、同年、和睦する。
1580年（天正8年）	大坂本願寺を退去した顕如が本願寺鷲森別院に到着。和泉国貝塚（貝塚市）に移る天正11年までの約3年間、本願寺本山となる。
1585年（天正13年）	紀州を平定した羽柴（豊臣）秀吉が、弟・秀長に命じて紀ノ川河口部「岡山」（現在の虎伏山）に和歌山城を築かせる。
1600年（慶長5年）	関ヶ原の戦いの後、浅野幸長が37万6千石で紀伊に入国。浅野氏は連立式天守を建て、現在の二の丸・西の丸に屋敷を造営するなど城の拡張、城下町の整備を行い、紀州藩のいしずえを築く。
1619年（元和5年）	徳川家康の十男である頼宣が、紀州徳川家初代として和歌山城に入城。
1716年（享保元年）	吉宗が、第8代徳川幕府将軍に就任。藩主としての藩政の経験を活かし、享保の改革を推進。
1858年（安政5年）	家茂が第14代徳川幕府将軍に就任。
1867年（慶応3年）	和歌山市の偉人・先人 南方熊楠が、和歌山城下橋丁に生まれる。
1894年（明治27年）	和歌山市の偉人・先人 陸奥宗光が、外務大臣として、日英通商航海条約を締結。幕末以来の不平等条約である領事裁判権の撤廃に成功する。

1889年（明治22年）	市制施行（面積5.517km ² 、人口51,603人）
1931年（昭和6年）	和歌山城が史跡に指定される。
1935年（昭和10年）	和歌山城天守閣が日国宝に指定。
1945年（昭和20年）	和歌山大空襲。和歌山城天守閣が消失。
1958年（昭和33年）	和歌山城天守閣を鉄筋コンクリートで外観復元。
1971年（昭和46年）	第26回国民体育大会夏季・秋季大会開催
1993年（平成5年）	阪和自動車道全線開通
1994年（平成6年）	世界リゾート博開幕。290万人が来場。 関西国際空港開港
1997年（平成9年）	和歌山市、中核市に移行
2010年（平成22年）	和歌山北インターチェンジ供用開始
2015年（平成27年）	第70回国民体育大会・紀の国わかやま国体開催 第15回全国障害者スポーツ大会・紀の国わかやま大会開催
2017年（平成29年）	「絶景の宝庫 和歌の浦」が日本遺産に認定
2019年（令和元年）	和歌山南スマートインターチェンジ供用開始 紀三井寺を含む「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」が日本遺産に認定
2020年（令和2年）	四季の郷公園が和歌山市初の道の駅として、国土交通省に登録される。 「葛城修験」- 里人とともに守り伝える修験道はじまりの地- が日本遺産に認定。
2021年（令和3年）	第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
2022年（令和4年）	和歌祭四百年式年大祭開催 有吉佐和子記念館オープン

和歌山市の各分野における偉人・先人（一部）



陸奥宗光
むつむねみつ
[1844～1897]
政治家



南方熊楠
みなかたたくまぐす
[1867～1941]
博物学者



川端龍子
かわばたりゅうし
[1885～1966]
日本画家



松下幸之助
まつしたこうのすけ
[1894～1989]
実業家



有吉佐和子
ありよしわかこ
[1931～1984]
作家

和歌山市の姉妹都市・友好都市

≪姉妹都市≫
アメリカ合衆国・ベイカースフィールド市
カナダ・リッチモンド市
大韓民国・濟州市
≪友好都市≫
中華人民共和国・濟南市

和歌山市の概要

和歌山県の北西部に位置する県庁所在地、和歌山市。瀬戸内海の一角を占め、緑あふれる豊かな自然と、黒潮がもたらす温暖な気候に恵まれています。

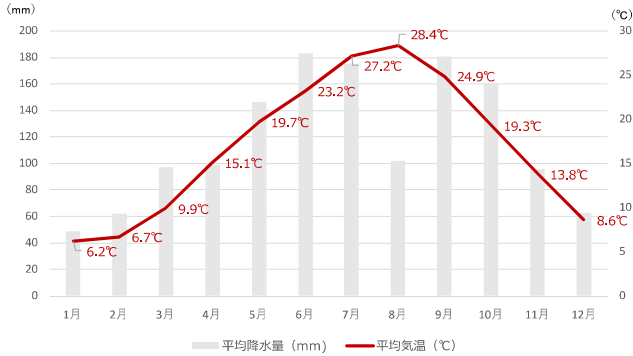


和歌山市き章（1909年制定）

和歌山市は三方を山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて淡路島と四国が見える、風光明媚で温暖な地です。その和歌山市の力強い発展を、き章が表しています。

面積 208.85 km²（令和5年4月1日現在）
位置 東経135度10分 北緯34度14分（市役所）
人口 354,391人（令和5年4月1日現在）
世帯数 174,186世帯（令和5年4月1日現在）

気温の平年値 年間16.9℃（1991～2020年までの平均値※気象庁）



和歌山市のキャッチフレーズと4つの分野別目標



- 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
- 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
- 子供たちがいきいきと育つまち
- 誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち

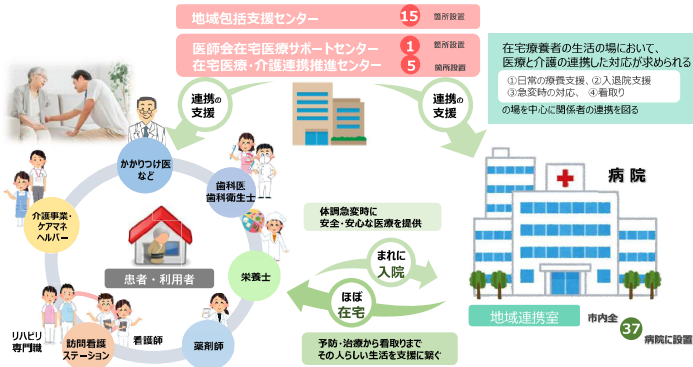
万一の時に頼れる医療体制の整ったまち

和歌山市は在宅療養の支援医療機関が充実

人口10万人当たりの在宅療養支援病院数
 中核市で **4位** (3.32)

人口10万人当たりの在宅療養支援診療所数
 中核市で **2位** (26.00)

出典：厚労省「在宅医療に係る地域別データ集(R3)」



和歌山市の特産品



財政

令和4年度一般会計決算額



歳入：166,447,440千円

令和4年度特別会計決算額

歳入：97,459,985千円



歳出：163,942,192千円

歳出：96,276,808千円

和歌山市の1日

出生 6.2人
死亡 14.1人
婚姻 4.2件
離婚 1.7件
転入 23.8人
転出 24.3人

※婚姻数及び離婚数は、令和3年人口動態統計による。その他は令和4年数値。

和歌山市の教育

	園児・児童・生徒数
幼稚園	2,224
幼稚園	22
幼保連携認定こども園	4,903
小学校	17,116
中学校	9,919

※学校基本調査 令和4年度

安心して子育てのできるまち

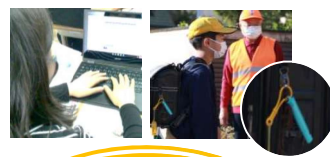
妊娠期から子育て期の切れ目ない相談・支援 子育て世代包括支援センター

助産師による相談、妊娠届出書の届出・母子健康手帳の交付、妊産婦健診、産後ケア事業、新生児訪問、こんには赤ちゃん事業、保健センターでの電話相談・来所相談、乳幼児健診、発達相談

妊娠届出時と出生届出後、**給付金各5万円**を支給

出産育児一時金は**50万円**を支給

新生活をスタートさせる結婚世帯に**最大6.0万円**を支援



教育にデジタルを活用!
 デジタル活用により、教室でも自宅でも授業に参加できる環境を構築。地域ボランティアの方とともにIoT/ICTを活用し、登下校時の子どもの安全を見守ります。

高等学校卒業までの子どもの医療費無償化



和歌山市の観光発信人



【市の花】つつじ

市に古くから自生し、万葉に詠まれ色もとりどりして鮮美であり、市民から親しまれ愛されている。

【市の木】くすの木

樹木の中でも最も寿命が長いとされ、常緑広葉樹で枝張りが高く、樹姿の雄大さと成長力の強さは、市勢発展を象徴

本資料に関するお問い合わせ

和歌山市広報広聴課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

TEL 073-435-1009 FAX 073-431-2931

<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/>